

プロジェクト開始前と現在の刺激実践、養育実践、社会的つながりの 管理の変化

1. 0~2歳の子どもたちは、夜間ベッドでのみで就寝する（昼寝の時間を除く）。この子どもたちは、一般的な家庭に育つ子どもたちと同程度の時間をベッドで過ごす。

当初のスコア 点 → セッション14の時点でのスコア 点

2. 赤ちゃんはクレードル、ハンモック、またはマットレスで寝る。赤ちゃんは、寝ているところから周囲の状況を見ることが出来る。

当初のスコア 点 → セッション14の時点でのスコア 点

3. 乳幼児は日中、頻繁に（おんぶまたは抱っこされて）動き回る。またはスタッフとの物理的接触（スキンシップ）を頻繁に取っている。

当初のスコア 点 → セッション14の時点でのスコア 点

4. 乳幼児は日中、頻繁に、スタッフから話かけられたり、抱かれたりする。

当初のスコア 点 → セッション14の時点でのスコア 点

5. 赤ちゃんは、ミルクをもらうときに、授乳されるときに姿勢でスタッフのひざの上に横たわる。ベッドにいるときはボトルを与えず、ミルクを飲むときはベッドから出されて、スタッフが時間をかけてミルクを与えている。

当初のスコア 点 → セッション14の時点でのスコア 点

6. スタッフが乳幼児の面倒をみるときは、その子に触れる際に頻繁に、感情表現を豊かにしてその子に話しかける。スタッフは頻繁に子どもの興味や注目を引こうとする。

当初のスコア 点 → セッション14の時点でのスコア 点

7. 子どもが泣いたり、愛情が必要な姿を見せると、スタッフはすぐに反応して、子どもをあやそうとしたり、落ち着かせようとしたりする。

当初のスコア 点 → セッション14の時点でのスコア 点

8. スタッフは制服を着ず、さまざまな普段着を着ているが、子どもたちはスタッフを見分けることができる。

当初のスコア 点 → セッション14の時点でのスコア 点

9. 乳幼児は頻繁に、床の上で遊ぶ。スタッフは床の上に座り、子どもの遊びを助け、探索行動を促すことが多い。

当初のスコア 点 → セッション14の時点でのスコア 点

10. 子どもたちが床の上で遊んだり、試したりする玩具や物体が複数個あり、それで遊んだり、試したりすることが奨励されている。

当初のスコア 点 → セッション14の時点でのスコア 点

11. 壁は多様な色に塗られているか？壁には物や装飾品、絵画、デコレーションが飾られているか？

当初のスコア 点 → セッション14の時点でのスコア 点

12. スタッフは子どもが喜ぶように、頻繁に乳幼児を（抱き上げて）揺り動かしたり、「たかいたかい」をしている。

上記の点数（6、4、または0）を右欄に記入する

点

13. 歩き始めた子どもたちには、ブランコ、ハンモック、メリーゴーラウンドなどの遊具でバランス感覚を養う機会があり、定期的にそれを行い、そうすることが奨励されている。

上記の点数（6、4、または0）を右欄に記入する

点

14. 日中に赤ちゃんや子どもたちの笑い声が聞こえることが頻繁にある。

上記の点数（6、4、または0）を右欄に記入する

点

15. 子どもたち（特に赤ちゃん）が、日中の長い時間を一緒に過ごすスタッフの数は、
1～2人である → 6点
3～4人である → 4点
5人以上である（あるいは、短期間（2ヵ月未満）、同じスタッフが一人の子どもを担当する） → 0点

上記の点数（6、4、または0）を右欄に記入する

点

16. スタッフとの子どもたちの個人的な関係が尊重され、奨励されている。

当初のスコア

点 → セッション14の時点でのスコア

点

17. どの子どもにも、その子のことをよく知り、責任の大部分を担うスタッフが一人割り当てられている。

当初のスコア

点 → セッション14の時点でのスコア

点

18. スタッフは、子ども同士の長期的な関係（友情）や子ども同士のつながりを支える活動を奨励して、支援している。

当初のスコア 点 → セッション14の時点でのスコア 点

19. 子どもたちは、施設で暮らしている期間中は同じグループに所属している（赤ちゃんと10代の子を除く）。

当初のスコア 点 → セッション14の時点でのスコア 点

20. 子どもたちの部屋には、個別の名前や装飾がある（A号室、グループCというような名前ではない）。子どもたちは、子ども部屋に、（名前、装飾、色などの）個性のある飾り付けをすることに参加している。

当初のスコア 点 → セッション14の時点でのスコア 点

21. スタッフは、子どもたちに対して敏感に行動している。子どもたちがスタッフの言うことを聞くように、その子の精神状態に応じて、振る舞いや方法を調整している。

当初のスコア 点 → セッション14の時点でのスコア 点

22. スタッフは全般的に、子どもたちにとって、身近な存在である。子どもが助け、保護、または愛情を求めるときに、スタッフはすぐに反応する。

当初のスコア 点 → セッション14の時点でのスコア 点

23. 子どもたちが怒る、興奮する、悲しむ、機嫌を悪くするなどしても、スタッフは、優しく、冷静に行動できる。子どもと一緒に怒ったり、興奮したりせず、子ども同士でケンカをしても、スタッフは動じることなく、冷静さと優しさを失わない。

当初のスコア 点 → セッション14の時点でのスコア 点

24. スタッフは頻繁に、子どもたちが考えていることや感じていること、また、他の子（人）がどう考えるか、あるいは感じるかについて、子どもたちと話をする。

当初のスコア 点 → セッション14の時点でのスコア 点

25. 子どもたちには、手伝わなければならないことや行動規則があり、それによって社会的な役割があるという感覚やその貢献が養育者によって感謝されていると感ずることができる。

当初のスコア 点 → セッション14の時点でのスコア 点

26. 赤ちゃんも含めて、子どもたちは施設外に出て活動することがあり、地域社会について認識し、地域の人々との交流することがある。

当初のスコア 点 → セッション14の時点でのスコア 点

27. 子どもは、施設外から知人を施設に招くことができ、中には、これを定期的に行う子もいる。

当初のスコア 点 → セッション14の時点でのスコア 点

28. 子どもたちは、施設外の活動に参加している。

当初のスコア 点 → セッション14の時点でのスコア 点